

電気通信大学 平成16年度シラバス

| | | | |
|---------|------------------------|----------|-------|
| 授業科目名 | 形式言語理論 | | |
| 英文授業科目名 | Formal Language Theory | | |
| 開講年度 | 2004年度 | 開講年次 | 3年次 |
| 開講学期 | 5学期 | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法 | | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 専門科目-専門共通科目-選択科目 | | |
| 開講学科・専攻 | 情報工学科 | | |
| 担当教官名 | 笠井 琢美 | | |
| 居室 | 西9-506 | | |

| | |
|--------------------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| kasai@cs.uec.ac.jp | |

| |
|---|
| 【主題および達成目標】 |
| <p>形式言語理論を題材とし、いろいろな概念の帰納的定義と、定理の帰納的証明について学ぶ。 形式言語理論は現在の計算機科学の理論の発祥となった理論で、この理論を学ぶことにより、多くの理論の基本的な方法論や発想法を知ることができる。</p> |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| 特になし |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| 離散数学、オートマトン理論 |

| |
|---------------|
| 【教科書等】 |
| 特になし |

| |
|--|
| 【授業内容とその進め方】 |
| <p>(a) 授業内容 第1～2回：語と言語 第3～4回：帰納的定義 第5～6回：数学的帰納法 第7～9回：文脈自由言語 第10～12回：基本的性質の証明</p> |

電気通信大学 平成16年度シラバス

- 第13回： 標準形定理
第14回： プッシュダウンオートマトン
第15回： 期末試験

(b) 授業の進め方：

形式言語を題材とし、いろいろな概念をどのようにして帰納的に定義するか、また、集合や言語の同値性をどのように帰納的に証明するかを、具体的な問題を通し理解する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

原則として期末試験の成績に基づいて評価を行う。
授業中に演習問題を行い、この結果を考慮することもある。

【オフィスアワー：授業相談】

水曜 16：15～17：45

【学生へのメッセージ】

特になし

【その他】